

まってるすけ高柳

☆子供も大人も笑顔がいっぱい！3年振りに「黒姫山山開き」が開催されました。

「山開き」と「鶺川神社」

鶺川神社宮司 大倉政洋

刈羽三山のトップを切り、3年振りに黒姫山の山開きが5月22日に行われました。約60名が参拝する中、10時から山頂近く(9合目)の鶺川神社において安全祈願祭を執り行い、この神社の御祭神「弥都波能売命」(ミズハノメノミコト)という神様と山を司る「大山祇神」(オオヤマツミノカミ)の神様たちに、登山する人たちの安全を祈願しました。

そして折角の機会なので、鶺川神社の説明を簡単にさせていただきました。「弥都波能売命」という神様は水を司る神様であり、水田に十分な水を恵み、水害から守ってくれる神様であること、加えて機織りの神様として刈羽、十日町、小千谷、魚沼一体の越後上布の生産者から崇拝されていたということなどです。また、この神社の歴史についても説明しました。創建は677年(天武6年)と伝えられていること、1395年(応永2年)に山上から現在地に遷座(神様がお移りすること)されたこと、延喜式(927年にできた国の政治のよりどころとなる法)神名帳(じんみょうちょう)に登載されている高格の神社であることなどです。

何はともあれ、今年も多くの人たちが安全に配慮され登山をし、黒姫山を存分に楽しみ、鶺川神社に参拝してくだされれば幸いです。



(裏面もあります)

